せんごくの里ニュース ふなで

2015年6月　第12号
社会福祉法人大阪福祉事業財団
せんごくの里
発行責任者：所長　永田美子
〒597-0051　貝塚市王子1183-3
TEL（072）437-1075
FAX（072）437-1076

「公民館まつり」で展示した、アンパンマンと共に！

共に考え、行動していく年に！

新年度、職員の異動や退職・フレッシュな支援学校卒業生を迎えるという変化がありました。日々ご家族や地域の協力も得ながら、利用者の生活の安定と日中活動の充実を図る中で、忙しくも楽しい毎日を過ごしています。

しかしながら今年度は、「障害福祉サービス等の報酬改定」によって、給付費単価が減額、食事提供加算も切り下げられ、利用者支援に係る経費（事業費）は減収となってしまいました。ただ、「福祉・介護職員処遇改善加算」や「福祉専門職員配置加算」など、引き上げられた部分もあり、厚生労働省は障害給付費の総額としては昨年度並みを維持したと言っています。実際には加算申請要件が厳しくなるなど、多くの事業所は収入減に頭を痛めています。

さらに来年は、「障害者総合支援法」の見直しの年であり、すでに社会保障関係費の伸びを抑制する方向で、介護保険の議論を踏まえ、障害者居宅支援では家事援助の見直しや、通所サービス利用者の食費負担軽減の見直しなどの論議が行われています。また現場の実態をよそに、社会福祉法人に対する地域公益活動の義務化や企業とのイコールフッティングが進められようとしています。

一方、国会では「安全保障関連法案」が性急に可決されようとしています。

戦後70年を経て、平和と福祉を守る事の困難さに直面しているのではないでしょうか。大阪福祉事業財団の法人綱領にもあるように、「福祉を破壊し、人道と人権に敵対する戦争政策、飢餓や貧困を生み出す政策に反対し、人々が平和のうちに、人間らしく生活できる権利を全面的に享受できるよう」今こそ、最大の努力を払うことが私たちの役割だと考えます。一緒に考え、できることから共に行動に移していきましょう。

所長　永田美子

新役員が決まりました

2015年度がスタートし、自治会役員が新体制に変わりました。今回は選挙管理委員さんが中心となって選挙を進めてくれました。初めて立候補する利用者さんもいる中で行われた選挙、当選して名前を呼ばれた利用者さんは一人一人とても誇らしい顔でみんなの前で挨拶されました。役員になった6名の皆さんは、意欲いっぱいです！1年間よろしくお願いします。

会長	木下　大樹さん
副会長	岡山　清憲さん
会計	浅野　絢子さん
書記	板原　秀興さん
司会・進行	中岡　潤忠さん
司会・進行	岸本　正徳さん

きょうされん署名にご協力ありがとうございました

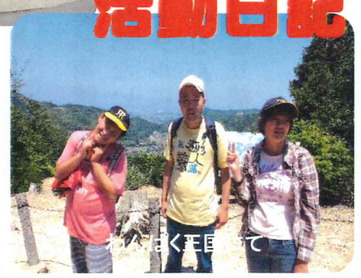
きょうされん第38回国会請願署名と募金活動へのご協力ありがとうございました。みなさんのご協力で760筆の署名が集まりました。全国から集められた請願署名は国会請願行動により、国会で議員に会って請願採択の協力を依頼し、署名の束を渡します。これまでに取り組んだ請願署名が採択された結果、小規模作業所の補助金制度や、グループホームの制度をつくる大きな力となってきました。障害を持つ人達が生きがいを持って働ける社会をめざし、これからもきょうされんの運動にご協力をお願いします。

天王寺動物園にて

上手く、ひっくり返せるかな

みさき公園にて

活動日記


天王寺動物園にて

公民館まつりで「よさこい」を披露！

2015年度も力を合わせて頑張ります！
～各班の取組み紹介～

いきいき班

新年度に入り新しい仲間が1名加わり、また職員も異動があり新しい職員を加えての新しいスタートをきりました。男性が多い班でしたが、女性利用者が増えたことで華やかさも増したように思います。仕事は引き続き内職やタオルをメインにいただいて皆で毎日頑張っています。「お給料をたくさんもらいたい！」という一番の目標を持ちつつ、喫茶や外出にも行きたいということで皆一丸となって仕事に取り組んでいます。

週末利用の方も含め計14名で今年度も頑張っていきますのでよろしくお願いします。

わくわく班

自主製品に加えて、プラスチック商品の組み立て作業の一部に取り組んでいます。商品を仕上げるペースはゆっくりですが、二つの部品を組み合わせる係り、その組み合わせた部品をしっかりと締め付ける係りなど、利用者一人一人にできる内容をみつけて取り組んでいます。現在では、商工新聞の発送までの作業にも取組み、作業の幅も広がり、より一層利用者のやる気につながっています。

夏に向けて今年も緑のカーテンプロジェクトとしてベランダでのゴーヤの栽培を行います。いきいき班はエコ活動にも取りくんでます。

白いくも

めざせ！コーヒーマイスター!!

現在2名の利用者が、実際にコーヒーを淹れ、お客様に提供しています。今回は、コーヒー豆の納入業者の方に来て頂きました。いつもと違った雰囲気の中、緊張感たっぷりの研修会でしたが今後の課題など勉強になりました。

いずれは全員ができるようになることを目指して定期的に研修や練習の場を今後も設けていきたいと思います。

挽きたて豆の美味しいコーヒーをぜひ!!

スタッフ一同お待ちしています。

（喫茶担当の巻）

新職員紹介

主任　成岡　史紹

こすもすの里からの異動で、入所から通所になり不安な部分が多く、また立場も変わるためどうなることかと思いましたが、他の職員や利用者さんに色々教えてもらいながら一日があっという間に過ぎています。

まだまだ慣れずでご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、よろしくお願いします。

支援員　仲田まゆみ

新たな出会いを楽しみに出勤した初日、作業が始まり利用者さんが次々と質問をしてくれたり、うつむき加減で握手を求めに来られたりと、それぞれの表現で受け入れてくださったのかなぁと感じた初日でした。

皆さんにも私と出会って良かった…と、思っていただけるように頑張ります。よろしくお願い致します。

綺麗な花をありがとう

5月19日（火）、今年も第四中学校の生徒の皆さんが、マリーゴールドを花壇に植えてくれました。

利用者の皆さんも一緒に花を植え、短い時間でしたが交流の機会を持つ事ができました。

積極的に取り組む姿が素晴らしい

音楽療法 vol. 7

ミュージック・ケア（M・C）のお話し、7回目です。

M・Cの基本的な動作の一つに、ラン ラン（肘を支点に両腕を車のワイパーの様に左右に振る動作）と、クルクル（「かいぐり、かいぐり」の様に身体の正面で両手を回旋させる動作）があります。どちらも皆さんが大好きな動作です。

私達には簡単に思える動作でも、皆さんはかなりの集中力を必要とします。

身体を思い通りに動かすことが難しい方も、職員さんや私の動作を見ながら模倣しようとされています。完璧にできなくても良いのです。動作の方向が変わるという事は、脳の中は大仕事をしているのです。「あんな風にやってみよう！」「楽しい！」と積極的に取り組む姿が素晴らしいと感じます。

諦めないで取り組めるのは何故でしょう？職員さんがモデルになって下さっているからです。「こんな風にやるんだよ。楽しいよ。」と動作を通してメッセージを送り続けているから、楽しみながら集中できるのです。

機会があれば、楽しんで集中している姿を是非見に来てくださいね。ご自宅で「ランラン、クルクルってなぁに？」と尋ねてみたら、動作で教えてくれるかもしれませんね。

次回はどんなお話しをしましょう・・。お楽しみに・・。

来たぞ！ニューフェイス

今年の4月から新しいなかまが加わりました。

南出なごみさんです。

佐野支援学校を卒業したばかりの18歳です。

みなさん、よろしくお願いします。